

令和 4 年 5 月 19 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2021

課題番号：16K02993

研究課題名(和文) 東アジア儀礼文化の比較史的研究 「物品目録」からの復元的考察

研究課題名(英文) Comparative Research on Ritual Culture in East Asia Focus on the catalogues of articles

研究代表者

稲田 奈津子 (INADA, Natsuko)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：60376639

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：東アジア儀礼文化の比較研究をおこなうために、本研究では物品の名称や数量を羅列したリスト(以下、「物品目録」と称する)に注目した。儀礼の諸段階において如何に物品目録が用いられたかという視点から分析することにより、十分な文献史料の無い時代・地域の儀礼についても、その具体像を明らかにし得る史料群であることを論じた。また関連する比較儀礼研究の成果としては、殯(ヒン、もがり)を中心とした喪葬儀礼に関する検討を進めるとともに、墓誌などの金石文資料を用いた検討もおこなった。以上の成果は日中韓および台湾において口頭報告や学術論文として発表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

「物品目録」に関わる史料群は、文献史学のみならず、モノに即した研究をおこなう考古学などの隣接諸分野においても注目されてきた。しかし「物品目録」自体への関心、つまり儀礼の中で実際に使用され、儀礼の一部分を構成したアイテムとして側面への関心は薄かったと言わざるを得ない。本研究では類例を広く東アジア世界の中に求め、儀礼研究の成果をふまえて比較検討することで、「物品目録」を当該期の儀礼文化、および歴史的文脈の中に位置付けることを試みた。これにより、モノに即した研究の成果を儀礼史研究の中に位置付け直し、遺物や遺構の再解釈にも一定程度貢献し得たものと考えられる。

研究成果の概要(英文)：In order to explore East Asian ritual cultures from a comparative perspective, this study focuses on “catalogues of articles,” which are sources that list names and quantities of material objects. By analyzing how “catalogues of articles” were used in different ritual stages, I argue that this kind of source has potential to reveal concrete ritual aspects from periods and regions in which few written sources are available. Additionally, as part of this comparative study of rituals, I have examined written evidence engraved on metal and stone, such as Tomb inscriptions (boshi), while advancing research on funeral rituals focused on mogari (bin 殯). Through presenting and publishing academic papers, I widely shared such new findings in Japan, China, Korea and Taiwan.

研究分野：日本古代史

キーワード：東アジア 儀礼 比較歴史学 物品目録 殯 随葬衣物疏 金石文 正倉院宝物

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

東アジアの儀礼に関連する文字資料の中には、式次第や各種文書類とは別に、物品の名称や数量を羅列したリストが多数存在している。従来、こうした史料群が統一的に論じられたことはなく、適当な専門用語も存在しないため、本研究では仮に「物品目録」と名付けた。一見すると無味乾燥にも思える「物品目録」であるが、分析の方法次第では、単なるリストを超えて儀礼の具体像や内実に向ふことのできる可能性を秘めていると考える。遺物との関係から考古学分野では比較的関心が持たれてきた「物品目録」ではあるが、幅広く儀礼関連史料の中で解釈されることはなかった。いわば研究分野間のすきまに取り残されてしまった史料群と言えるのだが、だからこそ分野横断的な研究成果の期待できる素材であろうと考えた。

2. 研究の目的

「物品目録」を中心とする史料群に注目し、そこから当時の儀礼の様相を復元することを第一の目的とした。あくまで断片的な情報に過ぎない「物品目録」は、それだけで分析するには限界がある。そこで地域や時代にとらわれず類似の事例を収集・比較し、またあわせて儀礼関連史料を幅広く検討することで、儀礼の内実に向ふことにした。こうした視角は、文献史料が多く残らない地域・時代についての検討をおこなう上でも有効であると考えている。映像資料の存在しない前近代の儀礼を立体的に復原するために、「物品目録」が持つ可能性を提示することを目標とした。

3. 研究の方法

まずは「物品目録」史料の収集・整理をおこない、特に分析の対象とする儀礼を絞って詳しく検討を進めた。具体的には、中国吐魯番地域出土の随葬衣物疏、陝西省法門寺塔跡出土の衣物帳、奈良東大寺大仏への献物帳などをとりあげた。当初計画では儀礼空間の踏査や目録に記された物品の現物調査なども重要な課題としていたが、研究期間の後半は COVID-19 の影響で、計画の多くを断念せざるを得なかった。

上記検討と並行して、礼制・儀礼文化に関する基礎的研究を継続しておこなった。特に喪葬儀礼に関する研究を進め、遺跡や出土遺物に関する検討、また殯についての再解釈をおこなった。また上記のように現地・現物調査の実現が難しくなったことをふまえ、調査対象を国内資料に切り替え、正倉院宝物図や古写経についての調査・検討を進めた。

4. 研究成果

1) 「物品目録」史料の検討

中国吐魯番地域出土の随葬衣物疏、陝西省法門寺塔跡出土の衣物帳、奈良東大寺大仏への献物帳などを中心にとりこんだ。特に随葬衣物疏については、調査担当者による正式報告書が出されていない場合がほとんどで、情報収集自体が困難な状況にあるが、先行研究の成果に導かれつつ、また当該分野の研究者の助言を受けつつ作業を進めた。特に、参考となる中国語論文(劉安志「中古の衣物疏の起源と変化」)については日本語訳を作成・発表し、さらに関連学会での口頭報告、論文発表をおこなった。本論文については、上記劉安志氏のご助力のもとに中国語訳が学術誌に掲載され、オンライン版にも転載されたことで、中国語圏の研究者からの反響を得ることができた。またさらに研究成果をもりこんだ上で、韓国の国際学術大会において口頭報告をおこない、韓国語論文を学術誌に掲載した。これらの成果にもとづき市民講座での講演をおこない、社会還元にも努めた。

2) 礼制・儀礼文化に関する基礎的研究

喪葬儀礼を中心に、いくつかの課題についての成果を公表した。殯(もがり)に関連して韓国所在遺跡の性格について論じたもの、近年の研究動向をふまえた再検討などを、口頭報告および論文として発表した。また殯とジェンダーとの関わりについて、台湾の研究集会において口頭報告した。その他、日本古代の喪葬儀礼に関する諸問題(官人統制、遺詔など)についても、個別に論文として成果を公表した。一方で皇后をめぐる礼制と儀礼についても検討をおこない、国際学会で口頭報告し、中国語論文として学術誌に掲載された。また律令制についての検討も進めた。

金石文史料に関する研究も継続して進めている。武寧王陵誌石をめぐる検討成果について論文発表し、さらに日本の事例紹介も加えて韓国で口頭報告をおこない、韓国語論文として学術誌に掲載された。また金石文を主題とした国際研究集会を主催するとともに、オープンセミナーや市民講座における講演、関連する韓国語論文の翻訳などもおこなった。

3) 史跡・遺物調査

主な調査先としては、2019年度までに、国内では奈良国立博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館・京都御所・陽明文庫・宮内庁正倉院事務所・奈良県立美術館・九州国立博物館・高松塚古墳壁画仮設修理施設・京都文化博物館・和歌山県立博物館・白鶴美術館・郡山市立美術館、国外では韓国の国立弥勒寺址展示館・ソウル大学校奎章閣・国立中央博物館・国立古宮博物館・国立慶州博物館・ソウル歴史博物館・韓国学中央研究院・宗廟・国立ハングル博物館・国立民俗博物館・景

福宮・ソウル大学校博物館、台湾の中央研究院などで調査・踏査を実施した。

4) 史料調査・撮影

2019年度後半以降、COVID-19の影響で当初計画していた国外調査が実行できなかったため、国内の史料調査・撮影に重点をおき、史料の資源化に努めた。本課題にも関連する諸史料(正倉院宝物絵図、古写経等)について調査・撮影をおこない、所属機関のデータベースを利用して公開するための整理・研究をおこなった。現在登録作業中であり、近い将来に閲覧室公開が実現する見通しである。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計24件（うち査読付論文 10件 / うち国際共著 4件 / うちオープンアクセス 7件）

1. 著者名 稲田奈津子（羅亮 訳・劉安志 校）	4. 巻 41
2. 論文標題 入斂・下葬儀礼復原的考察 以吐魯蕃出土隨葬衣物疏為中心	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 魏晉南北朝隋唐史資料	6. 最初と最後の頁 235-257
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 -
2. 論文標題 殯をめぐる覚書	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 古瀬奈津子編『古代日本の政治と制度 律令制・史料・儀式』同成社	6. 最初と最後の頁 2-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 -
2. 論文標題 武寧王妃墓誌の「改葬」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 狭川真一さん還暦記念会編『論集 葬送・墓・石塔』	6. 最初と最後の頁 25-30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 33
2. 論文標題 日本古代皇后制度的形成與中國禮制	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 古今論衡	6. 最初と最後の頁 35-58
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.30101/DPP	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 朴竣鎬 (稲田奈津子 訳)	4. 巻
2. 論文標題 日本と韓国の署名・花押比較	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 小島道裕他編・国立歴史民俗博物館監修『古文書の様式と国際比較』勉誠出版	6. 最初と最後の頁 162-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 文叔子 (稲田奈津子 訳)	4. 巻
2. 論文標題 朝鮮時代における私人間の契約文書 様式と特徴を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 小島道裕他編・国立歴史民俗博物館監修『古文書の様式と国際比較』勉誠出版	6. 最初と最後の頁 181-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 -
2. 論文標題 小右記	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 佐藤信・小口雅史編『古代史料を読む 下 平安王朝篇』同成社	6. 最初と最後の頁 159 ~ 174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 -
2. 論文標題 死亡報告と弔使派遣の展開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 古瀬奈津子編『律令国家の理想と現実』竹林舎	6. 最初と最後の頁 439 ~ 469
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 -
2. 論文標題 古代王権と遺詔	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 小口雅史編『律令制と日本古代国家』同成社	6. 最初と最後の頁 43～65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 26
2. 論文標題 日本古代墓誌と韓国、そして武寧王陵誌石	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 百済学報	6. 最初と最後の頁 219～241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 劉安志(榎佳子 訳・稲田奈津子 解説)	4. 巻 22
2. 論文標題 中古衣物疏の起源と変化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『法史学研究会会報』	6. 最初と最後の頁 234～257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 -
2. 論文標題 《慶元條法事類》與《天聖令》 唐令復原的新的可能性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 楊一凡・朱騰主編『歷代令考』下、社会科学文献出版社	6. 最初と最後の頁 681～704
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 835
2. 論文標題 口絵解説 「写疏筆墨充帳」模写	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本歴史	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 -
2. 論文標題 納棺・埋葬儀礼の復元的考察 トゥルフアン出土随葬衣物疏を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 佐藤信編 『律令制と古代国家』 吉川弘文館	6. 最初と最後の頁 442～470
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 朴竣鎬 (稲田奈津子 訳)	4. 巻 -
2. 論文標題 紙覚書 功德の時代から教化の時代へ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 湯山賢一編 『古文書料紙論叢』 勉誠出版	6. 最初と最後の頁 663～683
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尹善泰 (稲田奈津子 訳)	4. 巻 -
2. 論文標題 新羅中代末～下代初の地方社会と仏教信仰結社	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 小倉慈司・三上喜孝編 『国立歴史民俗博物館研究叢書 4 古代日本と朝鮮の石碑文化』 朝倉書店	6. 最初と最後の頁 95～115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 21
2. 論文標題 殯宮の立地と葬地 艇止山遺跡の評価をめぐって	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東京大学日本史学研究室紀要	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李漢祥 (稲田奈津子 訳・三上喜孝 解説)	4. 巻 18
2. 論文標題 発掘から解釈まで 艇止山遺跡の事例	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 山形大学歴史・地理・人類学論集	6. 最初と最後の頁 25-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武田幸男翻刻・解説、稲田奈津子・三上喜孝編集	4. 巻 234
2. 論文標題 水谷悌二郎日記抄録 広開土王碑研究を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国立歴史民俗博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 37-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子・西本哲也	4. 巻 -
2. 論文標題 東アジアの律令制	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 鈴木靖民監修、高久健二・田中史生・浜田久美子編『古代日本対外交流史事典』八木書店	6. 最初と最後の頁 261-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 16
2. 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から (韓国語)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東西人文	6. 最初と最後の頁 571-595
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 朴竣鎬 (稲田奈津子 訳)	4. 巻 224
2. 論文標題 韓国古文書におけるサインと身分・性別	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国立歴史民俗博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 181-197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 文叔子 (稲田奈津子 訳)	4. 巻 224
2. 論文標題 朝鮮時代の契約文書授受の裏面 本文記の種類と特徴について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国立歴史民俗博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 199-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲田奈津子	4. 巻 129-9
2. 論文標題 書評 榎本淳一著『日唐賤人制度の比較研究』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 65-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計19件（うち招待講演 2件 / うち国際学会 4件）

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 訳注『新儀式』巻第五 臨時下 冊命皇后事
3. 学会等名 第38回東アジア后位比較史研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 韓国における金漆研究の紹介
3. 学会等名 「古代の百科全書『延喜式』の多分野協働研究」第11回全体研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から
3. 学会等名 慶北大学校人文学院HK+事業団 第1回国際学術大会「古代東アジア文字資料研究の現在と未来 韓国・中国・日本出土木簡資料を中心に」(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 殞をめぐる覚書
3. 学会等名 第41回東アジア后位比較史研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 日本古代墓誌と韓国、そして武寧王陵誌石
3. 学会等名 武寧王陵誌石学術シンポジウム「武寧王陵誌石の新しい解釈」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 納棺・埋葬儀礼の復原的考察 劉安志「中古衣物疏の起源と変化」をてがかりに
3. 学会等名 法史学研究会第186回例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 日本古代皇后制度的形成與中國禮制
3. 学会等名 2017年「世界史中的中華婦女」國際學術研討會(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 金石文からみた日本古代と東アジア
3. 学会等名 文京アカデミア講座「日本史からみる、日本と海外との交流」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 納后儀礼をめぐる中朝比較研究 臨軒命使・納采を中心に
3. 学会等名 第7回東アジア后位比較史研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 聖武天皇のお葬式 附・正倉院宝物と献物帳
3. 学会等名 トンボの眼「入門解説・正倉院文書」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 殯宮の立地と葬地 艇止山遺跡の評価をめぐる
3. 学会等名 新羅史研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 殯宮の立地と葬地 艇止山遺跡の評価をめぐる
3. 学会等名 第14回東アジア后位比較史研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 行基と日韓古代金石文
3. 学会等名 トンボの眼「金石文と遺跡からみる古代の日本と朝鮮」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 百済武寧王の誌石と殯
3. 学会等名 トンボの眼「金石文と遺跡からみる古代の日本と朝鮮」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 墓誌からみた奈良時代の社会
3. 学会等名 トンボの眼「金石文と遺跡からみる古代の日本と朝鮮」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 日本古代の墓誌と東アジア
3. 学会等名 東京大学ヒューマニティーズセンター第41回オープンセミナー「東アジアのなかの墓誌」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 訳注『大金集礼』巻第五 皇太后皇后 天徳二年尊奉永壽永寧宮（その2）
3. 学会等名 第48回東アジア后位比較史研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 日本古代的殯（mogari）與女性
3. 学会等名 「東亞宗教與王權」工作坊（中央研究院「東亞文化意象的博物書寫與物質文化」主題計畫・科技部「年號與東亞古代王權」專題計畫（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 稲田奈津子
2. 発表標題 東アジアの古代儀礼を復元する 西域・長安・平城京
3. 学会等名 トンボの眼
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 中国・韓国における古代金石文研究の最前線	開催年 2021年～2021年
--------------------------------	--------------------

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------